

太宰府市俳句ポスト百十四回入選者

令和四年二月九日〜令和四年五月十日

選者 阿比留 初見

入選句

梅ヶ枝餅買うて梅見の友を待つ	筑紫野市	山本 耕一
飼主を引つぱつて犬青き踏む	太宰府市	松尾 満子
香りまで焔めかせては梅古木	大野城市	北 嘉与子
いつもより歩幅大きく五月晴	太宰府市	兼田 和加子
せせらぎに揺るる香りの草若葉	福津市	柴田 佳津子
日差し濃き寺苑の池の菖蒲の芽	筑紫野市	笹倉 裕子
二人して歩く参道梅かをる	筑紫野市	寒竹 賢次
一仕事遂げたる安堵春の月	小郡市	宮原 勝彦
やはらかな春の日差しと君の声	千葉県	中村 友哉
鬼すべや炭の香の染む終電車	福岡市	富島 京子
春寒や反戦デモの列の中	福岡市	満重 勇二
花吹雪幸せ願ふ門出かな	栃木県	齋藤 さら
晴天に飛行機雲と梅の花	京都府	大谷 竜也
ふらここやかしいかえんをとおくおもふ	北九州市	松成 美和
軽四の引越し博多へ嫁ぐ春	大阪府	佐藤 誠溢
太宰府も心齋橋も好きな春	大阪府	福本 優作
焼きそばを食べつつ見上げ冬の星	福岡市	今井 花音
せみの声どこからぼくについてくる	春日市	山下 そう太
太宰府にきて梅ヶ枝餅と梅の花	大分県	渡邊 結奈
友達と桜の下をかつぼする	佐賀県	倉成 桃愛

十歳

十歳

九歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳

十歳